

令和7年度関原こども園 学校評価の結果公表

1. 関原こども園の教育目標

関原こども園の教育目標 ・生命尊重 ・報恩感謝 ・精進努力 関原校区共通目標(保幼小中連携事業) ・あいさつをする子 ・思いやりのある子 ・関原大好きっ子
--

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な評価項目や計画

・当園の教育目標、関原校区共通目標を育てたい子どもの姿と定めて、教育保育に取り組む。 ・関原校区の共通目標を定め、地域に親しみをもってもらえるように、地域行事の参加や園外保育に取り組む。
--

3. 評価項目の達成状況及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	改善方法
教育・保育計画	B	職員自己評価が前年と同程度であり、計画自体についても前年同様であった。	職員の自信となるよう、園内外の研修でスキルアップに努めてもらう。
健康・安全	B	前年に比べ、B評価が多くなっている。	マニュアルを簡潔な形に改訂し、会議や研修等で読み合わせの機会を設ける。
食事・食育	B	前年と同程度の評価となっている。	令和8年度に長岡市の保育園等食育事業が実施予定のため、該当クラス以外の職員にも参加を促し、食育に関心を持ってもらう。
環境設定・構成	B	前年とほぼ同様の評価。	研修等で環境構成への理解を深める。
子どもの理解	B	前年の課題 1人1人の保育への意図を持つことの評価が低い点について改善傾向である。	今後も年齢チーフが中心となり、保育への意図を各職員で共有できるような体制を構築する。
教育・保育の方法	B	虐待についての法律・マニュアルの項目の評価が低い。	園でのマニュアルだけでなく、法律への関心を持つように促す。職員会議等で随時紹介していく。
保護者支援	B	園の保育や自身の保育についての項目は改善されつつあるが、地域の子育て支援に低い評価がみられる。	普段から子育て支援センター事業に関わる職員とそうでない職員で評価が変わるため、次年度以降評価対象職員を考慮する。
職員の資質向上	B	評価は前年同様だが、職員間の協力体制の項目は上昇している。	連携・確認を取れる環境となっているので、他の項目について職員間でのアドバイス等で改善するように促す。
職員の心理的安全性	C	今年度からの項目。数は少ないがD・E評価があるため、一部の職員に心理的安全性が確保されていない状況がある。	自身の心理的安全性が確保できないと感じる際には、園長・副園長等の役職者が仲介に入る形で対応していく。

※園ホームページ掲載 令和7年度職員自己評価アンケート参照

4. 学校関係者評価委員会による評価及び意見の概要

・保護者アンケートの評価項目は前年と同様のものを使用。9割程が肯定的な回答であった（前年は8～9割程度）。 ・保護者アンケートの自由記述より様々なご意見をいただいた。園内での過ごし方や、職員対応等改善できる所については、次年度に向けて職員間で周知する。

※園ホームページ掲載 令和7年度保護者アンケート集計
令和7年度関原こども園の活動等に関するアンケート(意見等)参照

5. 自己評価結果と学校関係者評価の結果を踏まえた、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果の概要

・前年度の課題であった保護者支援の項目は改善傾向にある。今年度から職員の「心理的安全性」の項目を設けた。一部の職員に低い数値が出ており、A・B評価も多くなかった。令和8年度中に園内研修にて、職員間で気兼ねない意見交換をできる環境を整えていく。また、自身の心理的安全性が確保できない際の窓口として、園長・副園長等役職者が対応にあたる。 ・関原校区共通目標「関原大好きっ子」について、園単独・学校単独での活動は行っている。園・学校が連携して行う活動は日程調整が難しいため、無理に何か新しいことをするのではなく、既存の活動を継続的にやっていく。
--

項目3の評価結果の表示方法

A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組まれているが、成果が十分でない

D：取り組みが不十分である